令和２年度伊勢原市行財政改革推進委員会第2回会議録

〔事　務　局〕　企画部経営企画課

〔開 催 日 時〕　令和2年11月24日（火）午後3時から午後4時40分まで

〔開 催 場 所〕　伊勢原市役所本庁舎4階　政策会議室

〔出 席 委 員〕　８名
鈴　木　靖　夫（会　長）
青　柳　貞　徳（副会長）
大　川　　要
大　杉　あや子
河　原　啓　子
中　村　隆　志
引　田　道　人
吉　野　　太

〔事務局職員〕　5名
山　室　好　正（企画部長）
酒　井　哲　也（企画部行政経営担当部長）
桐　生　尚　直（企画部参事兼公共施設マネジメント課長）
成　田　勝　也（経営企画課長兼行政経営係長）
都　竹　新　平（経営企画課主任主事）
鍛　代　俊　介（公共施設マネジメント課主任主事）

〔公 開 可 否〕　公開

〔傍 聴 者 数〕　なし

《議事の経過》
第１部　委嘱式
　１　委嘱状交付

　２　市長あいさつ

第２部　会議
１　会長・副会長選出

２　議題
（１）令和２年度行財政改革推進委員会 今後の予定について

（２）第５次行財政改革推進計画の中間見直しに係る検討について
　・職員アンケート（結果概要）について
　・平成３０年度及び令和元年度における取組結果の検証について

（３）令和元年度の公共施設使用料見直しに係る実績等について

（４）公共施設等総合管理計画実施計画の主な取組の進捗状況等について

３　その他

※質疑応答・意見等は別紙１のとおり

別紙１

１　会長・副会長選出

委員の互選により、会長に鈴木靖夫委員、副会長に青柳貞徳委員が選出された。

２　議題

（１）令和２年度行財政改革推進委員会 今後の予定について

意見なし

（２）第５次行財政改革推進計画の中間見直しに係る検討について

［意　見］

〈職員アンケート（結果概要）について〉

・職員アンケートの回答率が 5 割に届かなかったことは残念であるが、自由記述欄の回答などを見ると、深く考えている職員が多いと感じた。

・行財政改革の取組について、削減・縮小ありきのネガティブなイメージで捉えている職員が見受けられる。改革によって得られる業務の効率化などが働き方の改善につながり、職員のワークライフバランスの向上にも寄与するなど、行財政改革の魅力的な一面も理解してもらい職員の意識醸成を図ってほしい。

・行財政改革推進計画に対する職員の認知度が 3 分の 1 程度と芳しくない中で、これまで一定の成果を上げてきていることを考えれば、職員の意識醸成による今後の伸びしろがあると捉えていいのではないか。

・アンケートにより職員の生の声を把握することは良い取組だと思うので、今後も定期的に実施してはどうか。

・アンケート結果を受けて、今後どのように取り組んでいくかが重要である。行財政改革の取組、計画について、職員にすら理解が十分に行き届いていないということは、市民にとってみれば、ほぼわからないことと同義である。行財政改革の取組項目にメリハリをつけるなど工夫して、わかりやすいものにする必要があるのではないか。

〈平成 30 年度及び令和元年度における取組結果の検証について〉

・業務の標準化の取組が、2 年とも達成状況が「計画どおり進捗せず」との評価であるが、業務の標準化は非常に重要なことである。標準化を進め手順を明らかにすることで、誰が担当しても一定以上の水準にできることや、業務の ICT 化への移行の判断が容易になるなどのメリットがあると考えられることから、今後も重要項目として進めてほしい。

	［質　問］	［回　答］
①	職員アンケートについて、性別ごとの回答率はわかるか。	今回のアンケートでは、性別についての質問は設けていないため、把握できない。
②	職員アンケートについて、回答率が５割に満たない現状であるが、今後どのように職員の意識醸成を図っていくのか。	アンケート結果は、部長会議で報告し各部内での周知を依頼するとともに、庁内ネットワークで周知している。今回の結果を受けて、計画や取組の周知方法を工夫するなど、今後の職員の意識醸成に繋げられるよう検討を進めていく。
③	伊勢原市は行政の ICT 化がどの程度進	限られた職員数で効率的な行政運営を行

	んでいるのか。	うため、数年前から業務の ICT 化への取組を進めているところであり、「保存文書の電子化」「文書管理システム」「ペーパーレス会議システム」「RPA」を導入し、事務改善を進めている。今年度は、職員の勤怠管理等に係る庶務事務システムの導入を検討中である。 また、今般のコロナ禍を受けて、行政手続きのオンライン化など、市民サービスに関わる部分の ICT 化についても検討を進めている。

（3）令和元年度の公共施設使用料見直しに係る実績等について

意見なし

（4）公共施設等総合管理計画実施計画の主な取組の進捗状況等について

意見なし

以　上